

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト の実施の流れ

(プロジェクトの募集)

●表彰

最優秀賞 1 件 (指定ルートを対象)
優秀賞 2 件 (指定ルートを対象)
ルート審査委員特別賞 (指定・候補ルートを対象)

●応募登録条件

(1) 応募登録件数

平成24年度に取り組んだ各ルート「2プロジェクト」程度

(2) 応募登録条件

①指定ルートの場合

- ・2年以上の実績を有する活動
- ・過年度に「最優秀賞」を受賞した活動は応募不可。最優秀賞以外の賞を受賞した活動は、前回からの改善、向上が認められることを必要とする。

②候補ルートの場合

- ・ルート登録以前から継続実施している活動も応募可能
- ・過年度にルート審査委員特別賞を受賞した活動は、前回からの改善、向上が認められることを必要とする。

応募プロジェクトの登録

【必要書類】

- ①取り組み概要説明資料
(2種類)

【提出先】

- ・推進協議会事務局

【登録数】

- ・指定ルート：14プロジェクト
- ・候補ルート：1プロジェクト

応募プロジェクトの公開

- ・シーニック電子会議室での公開及び各ルートからの投票を実施。

審査委員会による選定

2/24

推進協議会において各賞を決定

※6/24
推進協議会

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトの講評

《ルート審査委員会による講評》

本表彰制度に登録されたプロジェクトの審査にあたっては、シーニックバイウエイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動の積極的な創出、啓発、普及を目的に、活動の持続性、地域への浸透・波及性、ルート運営の基盤強化、ブランド形成や活用、人材育成の充実などの視点から総合的に評価し、各賞の選出を行った。

いずれの取組も、地域の特長の活用と創意工夫が見受けられ、シーニックバイウエイ北海道の持続的推進や発展に貢献する取組と評価できる。

その中から、当該ルートの代表的な取組に留まることなく、他のルートへの波及・展開や今後のシーニックバイウエイ北海道全体のブランド化への貢献なども含め、将来への発展性が高く評価できる取組を「最優秀賞」として推薦するものである。

なお、この受賞をきっかけに、広く認められるプロジェクトに成長するためのひとつのステップと捉えていただき、今後ともプロジェクトに係わる人材の育成や地域における活動の輪の拡大、定着などに努めていただき、さらなる質の向上や発展へ向けた取組を大いに期待したい。

■最優秀賞（ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト）

プロジェクト名	トカプチまる得めぐり券事業
ルート名	トカプチ雄大空間
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
本取組は、本格的な収益型の取組としてシーニック初の試みであること、また、スタートから3年が経過し、着実に販売実績が上がり、しっかりと収益を出している点が非常に評価できる。さらに、この実績により、旅行会社の商品に組み込まれるなど、今後更なる広がりも期待でき、他のルートの見本となる取組である。	

■優秀賞(2件)

プロジェクト名	「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズム」推進体制づくり
ルート名	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
本取組は、バリアフリーツーリズムの実現に向け、一步一步着実に取り組んでいる点が評価できる。また、旭川のNPOと連携し、広域的な取組となっている点も評価できる。今後は、継続的に活動できる事業となることを期待したい。	

プロジェクト名	人と未来をつなぐ 100 年の木プロジェクト
ルート名	4ルート連携事業:大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、これまでにはない、4つのルートが連携した広域的な取組で、画期的である。また、道路空間の利活用という点も評価できる。今後は、タイトルの通り息の長い活動を期待したい。</p>	

■ 審査委員特別賞

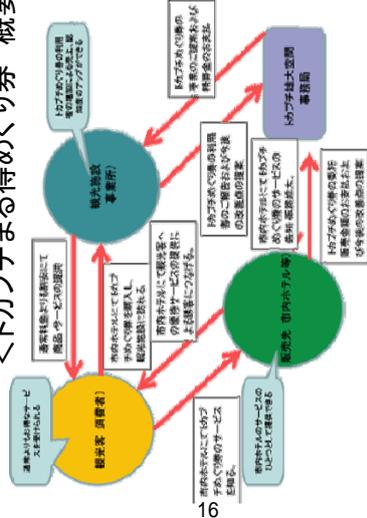
プロジェクト名	タカラモノプロジェクト
ルート名	支笏洞爺ニセコルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、地域に自生する野草や捨てられている資源を使い、新たな価値を見出すというアイデアは評価でき、将来が楽しみ。今後、この取組を軌道に乗せ、地域の経済活動活性化に期待したい。</p>	

①活動概要

「トカプチまる得めぐり券」*1)の事業を通じて、トカプチ雄大空間ルート内の観光施設や見どころを「みち」でつなぎ、互いの強みを連携させることから質・量ともにボリュームを上げた情報発信を行うことを目的としている。また「トカプチまる得めぐり券」のお得なサービスを観光のお客さまに売り込み、トカプチ雄大空間のルート内の観光施設を巡ってもらう、ひいては交流人口を増加させ持続可能な経済活動を始める一助とすることを目的としている。<*1)ルート内の施設で利用できる”お得券”>

②活動の体制

<トカプチまる得めぐり券 概要図>



●ガーデンスイーツ・フード・ドリンク券(1,200円)対応施設
(ガーデン施設入場券1枚+スイーツ・フード・ドリンク他引換券2枚、ばんえい競馬入場無料券付)
【ガーデン&施設】
真鍋庭園・紫竹ガーデン、おびひろ動物園・帯広百年記念館・ばんえい十勝・十勝ヒルズ
【スイーツ・フード・ドリンク他】
とかちむらとかち物産センター・北の屋台・チューインガム・ダンテライオンドーナツ・新嵐山荘・焼肉KAGURA・すず喜・柳月スイートピアガーデン、まきばの家・池ワイン城・道の駅ステラ★ほんべつ

●温泉+フード・ドリンク券(2,000円)対応施設
(十勝川温泉入浴券1枚+フード・ドリンク他引換券2枚、ばんえい競馬入場無料券付)
【温泉・ばんえい競馬】
第一ホテル・観月苑・笹井ホテル・ばんえい十勝
【フード・ドリンク他】
とかちむら・真鍋庭園・紫竹ガーデン・北の屋台・とかち物産センター・チューインガム・ダンテライオンドーナツ、すず喜・柳月スイートピアガーデン・十勝ヒルズ・まきばの家・池田ワイン城・道の駅ステラ★ほんべつ

③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】 利用者ニーズに合った料金設定や、付与サービス内容などの検討を何度も行った。

【工夫した点】 今年度は関係機関との調整など、早い段階から準備を始めてGW前4月末からの販売を行った。

昨年度の経験を活かして、利用者ニーズを踏まえて「ガーデン&スイーツ」と「温泉・フード・ドリンク」の2種類を販売。

④活動の効果

今年度で3年目の事業となるトカプチ雄大空間内の施設をお得にめぐれる「トカプチまる得めぐり券」(1,200円、2,000円の2種類)を販売した。ルート内の観光施設20箇所、市内ホテル13箇所、観光案内所等8箇所と販売箇所を拡大し、委託販売とともに相互の施設においてPR活動を実施した。(一般販売:326枚)

⑤今後の活動予定等

今年度の結果を受けて、平成25年度は、「とかちガーデンスイーツ温泉チケット」と名称および企画内容を変更する。また、JR北海道およびJTBの旅行商品に組み込みが決定し、更なる販売促進を期待している。今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行い、定期的な収入になるよう、販売先を広げていく予定である。



ガーデン+スイーツ・
フード・ドリンク1,200円

温泉+フード・ドリンク
2,000円

今年度は4月末から販売を開始!

プロジェクト名 「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツアーリズム」推進体制づくり

ル ー ト 名 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

①活動概要

平成21年度に実施したWebアンケートの結果を踏まえ、阿寒湖温泉の介護福祉施設や宿泊施設と連携して、障がいのある観光客や高齢の観光客の受入体制づくりを進めている。昨年度は調査員として高齢者を招いたが、今年度は脊椎損傷で車いす生活の女性とそのお母様を調査員として招き、モニター調査を行った。また、地域全体での「おもてなしの環境づくり」に取り組むために、シーニックカフェスタッフや接客業に携わる地域住民を対象とした勉強会を開催した。

②活動の体制

●実施主体
釧路sbw観光交流部会
＜モニターツアー企画・運営＞

●ツアー協力：宿泊ホテルの提供など
NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
あかん遊久の里 鶴雅

●ツアー協力：介護ヘルパーの派遣など
NPO法人和（阿寒湖畔など）
NPO法人「旅とぴあ北海道」（旭川）

③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】旅程を検討する際に、バリフリーの施設（トイレなど）の位置情報が整理されずおらず苦勞した。また、多少のバリアがあっても障がい者が困った際に、現地の施設側である程度の対応ができるかといった情報がなく、一軒ずつ電話で確認した。
【工夫した点】3泊4日のモニターツアー中は介助スタッフが常に同行し、モニターの意向や体調、施設の対応状況などを踏まえて、臨機応変にツアー行程を変更しながら実施した。

④活動の成果

- ◆旭川のNPO法人と連携して地域を超えたモニター調査を行った結果、広域的なバリフリツアーのニーズ、可能性を実現できた。一方で観光拠点間の公共交通を利用した移動ではドライバーの対応、協力が不可欠といった課題を把握することができた。
- ◆モニター調査を通じてツアー協力者（介護福祉施設や宿泊施設）との連携が深まり、事業化にむけて良い関係が構築できた。

⑤今後の活動予定等

事業化に向けた受け入れプログラムや料金体系の整理を始めており、地域全体でもおこなうことができる具体的な体制づくりを行う。

バリフリモニター調査の様子



①活動概要

「支笏湖や洞爺湖で駆除されている ウチダザリガニを食べられないか？」という何気ない一言から始まったこのプロジェクト。変化とともにどんどん形を変えながら最終的に落ち着いたのが捨てられているものや季節の変わり目に見向きもされなかつたものに“光”をあてて『地域の宝物』として再活用しているという取り組み。

このプロジェクトには、『光』をあて、「交流」にとどまらずにこれまで捨てられていたモノや見向きもされなかつたモノに『光』をつつけようという思いが込められています。

②活動の体制

- ① 支笏洞爺ニセコルート代表者会議
- ・ 全体企画、各種プロジェクトの実施、地域内における合意形成の推進
- ② ルート内の飲食店、集客施設
- ・ 試作メニューの提供、商品販売 ほか
- ③ 旅行代理店
- ・ プロモーション、モニターの実施 ほか

③苦労した点や工夫した点

- ・ 当初は洞爺湖のウチダザリガニの料理を予定していたが、諸般の事情で事業化を断念した。
- ・ 夏から秋にかけて食材の収集が立ち遅れた。(特に冬場は食材調達が困難である)
- ・ 広域的な参加呼びかけができず、幅広いエリアが生まれなかつた。
- ・ 情報受発信のツールとしてfacebookの活用が有効であつた。
- ・ 支笏湖のホッチャレヒメマスや壮瞥のリンゴの枝のチップで炙つた『一枚のピザ』として完結

④活動の効果

- ・ 地域において活用できそうな食材や調理法に関する調査等を実施し試作すること、
- 「今ここでしか味わえない素材や料理」を創出することになつた。
- ・ 流通のシステムに載らない小さい産地の隠れた食材を訪れた方々に味わっていただくことで食の文化や伝統的な郷土料理を見直し、地元の食の文化と味を“伝え”“広め”“楽しむ”ことになつた。

⑤今後の活動予定等

- 平成23年度：資源発掘、試作メニュー「ピザ」の試作、モニターツアーの実施
- 平成24年度：協力店舗の発掘及び提供メニューの検討、プロモーションの実施ほか
- 平成25年度：商品化に向けた基盤固め、飲食店等でのメニュー化ほか(予定)

将来的には、本プロジェクトをベースに支笏洞爺ニセコルート内資源の循環的な利活用及び沿道景観の維持につなげよう進めていきたい。



左)支笏湖上ミーティングの様子
右)試作版 ほちやれヒメマス燻製



洞爺湖
スノーシュー散策



スベリヒユほか
地元料理体験



ヒメマス燻製づくり体験
(壮瞥果樹園の林檎剪定後の枝をウッドチップにして利用)



『ヒメマス燻製ピザ』
モニターツアーで提供

支笏洞爺ニセコルート
タカラモノプロジェクト
モニターツアー
1/28(土)・29(日)

冬場限定の体験メニュー
● 薪火の味
● 薪火の香
● 薪火の音
● 薪火の光
● 薪火の熱

支笏湖上ミーティング
スノーシュー散策
地元料理体験
ヒメマス燻製づくり体験

支笏洞爺ニセコルート事務局
〒045-1855 北海道支笏洞爺郡洞爺町支笏1-1-1
TEL 015-222-2222

平成25年6月24日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2012

の各賞決定について(案)

標記の表彰制度(ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2012)は、シーニックバイウェイ北海道推進の基本方針3.(3).カ)に基づき、平成20年度より実施しているところ。

第10回シーニックバイウェイ北海道ルート審査委員会(平成25年2月24日開催)における審査・推薦により、次のとおり最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2012」並びに各賞の決定を行う。

最優秀賞(1件)

プロジェクト名 : トカプチまる得めぐり券事業
ル ー ト 名 : トカプチ雄大空間

優秀賞(2件)

プロジェクト名 : 「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズム」
推進体制づくり
ル ー ト 名 : 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

プロジェクト名 : 人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト
ル ー ト 名 : 4ルート連携事業:大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道

ルート審査委員特別賞(1件)

プロジェクト名 : タカラモノプロジェクト
ル ー ト 名 : 支笏洞爺ニセコルート

なお、上記プロジェクトへの評価は別紙による。